

〔西宮記臨時二〕定王氏爵人事

第一親王、依宣旨定申孫王爵以自解申、

〔小右記〕長元四年三月一日戊申、傳關白藤原賴通御消息云、式部親王敦平、依王氏爵事、前日有被問之

事、已可被尋問、口入之人、歟將可被留、王氏爵之是定、歟、今年可有朔日叙位、以他親王可令是定、歟、略

〔年山紀聞一〕王氏の是定

今按、橘氏は是定をのみ沙汰して、王氏にも是定の人ある事を世の人知らず、

〔倭訓栞前編十三〕せぢやう 是定のよみ也略中 小右記に、王氏是定とみゆ、職原抄に、凡稱氏長

者、王氏源氏藤氏橘氏有此號、王氏者往古之例親王爲其長とみゆ、されば是定は、氏の長者たるをいふにや、

〔傳宣草下〕諸宣旨事

一下外記宣旨

臨時事

橘氏は是定事略中

氏々爵是定事源氏、橘氏、王氏、

一外記總臨時仰諸司事等、外記所奉也、

臨時事

是定氏々爵事

○按ズルニ、是定ノ事ハ、下文橘氏は定ノ條ニ詳ナリ、

〔康富記〕寶徳元年十二月十一日丙戌、王氏御申文事第一、親王爲是定、可被申請也、當時親王御一所